



3年ぶり11回目の優勝を飾り、マウンドに駆け寄り跳び上がって喜びを爆発させる八学光星ナイン。22日午後5時9分、弘前市のはるか夢球場

# 光星 3年ぶり優勝

第104回 全国高校野球 青森大会

夏の甲子園出場を懸けた第104回全国高校野球選手権青森大会は最終日の22日、弘前市のはるか夢球場

で決勝を行った。八戸学院光星が八工大一との同地区対決を6―5で制し、2019年以来3年ぶり11回目の優勝を飾った。  
【詳報16・17面、「26年越し 洗平親子の夢かなう」29面】

試合は、序盤から八学光星が打力を発揮し、六回までに12安打で6点をリード。八工大一も七回以降、毎回得点で1点差に迫ったが、ストッパーとして登板した八学光星の主戦洗平歩の前にあと一打が出ず、八学光星が逃げ切った。八学光星は、8月6日から兵庫県の阪神甲子園球場

で開かれる全国選手権に本県代表として出場する。青森大会には、連合4チームを含む50チーム（59校）が参加し、15日間で48試合を開催。初の準々決勝に進出した八工大二が「学校事情」を理由に辞退する。アクシデントもあったが、19年以来3年ぶりに開会式が行われ、全試合有観客とするなど、新型コロナウイルス感染症拡大前の熱気が戻った。  
（本紙取材班）